


国際ロータリー・テーマ	世界に希望を生み出そう	(国際ロータリー会長 ゴードン R.マッキナリー)
地区スローガン	個性、基本、求心力	(第2650地区ガバナー 中野博美)
彦根RC会長テーマ	幸せを分かち合い 心豊かなロータリーライフを	(彦根ロータリークラブ会長 渡邊信子)
<認 証>	1952年10月27日 <例 会> 毎週木曜日 12時30分～13時30分	<2023～2024年度> 会 長 渡邊 信子 会長工レク 田井中 徹
<例会場>	料亭旅館 やす井 TEL 0749-22-4670	副会長 大館 康伸 幹 事 松田 充弘
<事務局>	〒522-0063 彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3階 TEL 0749-23-2101 FAX 0749-26-9272 E-mail:hikonercc@topaz.ocn.ne.jp http://www.hikone-rc.org/	会 計 澤田 和重 SAA 宮川 基司



彦根市内寺院・神社

寺院：仙琳寺（彦根市古沢町）

「愛宕山」という山号からも窺えるように、仙琳寺の地には、もともと愛宕権現を祀る社堂があった。江戸時代以前から存在していたとされる。元禄8年(1695)四代藩主井伊直興は愛宕社を修理し、その社前に舞台を建立した。江戸時代の早い時期から藩の庇護を受けていた。この庇護は、彦根城下の火災除けという信仰による。井伊直興の庶子千代之介が誕生。後に出家して名を本空と改める。自ら一寺を建立する決意を秘めたまま60歳で急逝。弟子の義空に決意を遺命した。十一代藩主井伊直中が義空を取り立て、寺院の普請を進め、直中の懇願で日光輪王寺の直末として認められ、輪王院から「仙琳寺」の号を賜る。義空は直中の厚い庇護のもと寺観を整備されたと伝えられております。

第3405回例会

2023. 9. 7

開会点鐘
君が代斉唱
ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
4つのテスト唱和
ビジター紹介
食事・懇談
会長の時間
 会員のお祝い
 幹事報告
 委員会報告
 ニコニコ箱報告
 出席報告
卓話
「子らの命輝く！
 ～フリースクールからの伝言」
ゲスト：NPO法人
 フリースクールてだのふあ
 代表 山下吉和氏
担 当：社会奉仕委員会
閉会点鐘

お祝い


会員誕生日 中川勝晴君(9月12日)
配偶者誕生日 菅谷君夫人恵子さん(9月8日)
杉本(克)君ご夫人清美さん(9月9日)
浅山君ご夫人あきさん(9月11日)
結婚記念日 本登君ご夫妻(9月3日)

ロータリーの友9月号 必見どころ

横書き P7 特集 ロータリーの友月間
 -『ロータリーの友』を裏側から探る-
 毎月の雑誌が作られるまで
P18 心は共に東日本大震災
 ロータリー希望の風奨学金
縦書き P4 SPEECH
 読み書きが苦手な子どものために
 大阪教育大学名誉教授 竹田契一
P9 この人訪ねて 故金正司さん(岐阜中RC)

幹事報告

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、7千万円達成クラブ感謝状が届きました。



2. 記念植樹をした「百日紅(さるすべり)」がその名の如く、暑い最中に赤い花を一杯つけています。足をお運び頂きは是非ご覧ください。(戸所事業部会長より)



次回例会案内 (2023.9.14)
「心豊かなロータリーライフを楽しむために
 やるべきこと」
ゲスト：滋賀彦根新聞社 山田貴之氏
担 当：広報雑誌委員会

世界各国のロータリークラブから寄せられた支援

関東大震災(1923年9月1日)の被災にあたって、国際ロータリーと世界各国のロータリークラブからの義捐金は総額邦貨8万9,000円余りに達した。

震災発生直後の9月4日には国際ロータリーのガイ・ガンディカー会長から激励の電報が届き、10日にはサンフランシスコから1,000 \$、翌11日にはニューヨーククラブから1,000 \$の義捐金が到着し、16日には国際ロータリー本部より大阪クラブに2万5,000 \$ 寄贈の申し出があった。

救援の動きは国際ロータリーやアメリカ各クラブにとどまらず、世界中のクラブから寄付の申し出が相次いだ。その数は17カ国、503クラブに及び、国際ロータリーを通じた寄付額が7万4,000円余り、各クラブから寄せられたものが1万5,000円ほどで、総額は邦貨換算で8万9,000円余りにのぼった。

創立後3年にも満たなかった東京クラブの会員たちは、この国際ロータリーと全世界のクラブの迅速かつ厚情に溢れた行動に驚きを隠せなかった。クラブ創立後例会こそ開催してきたものの、確とした活動方針が定まらず模索を重ねていた会員たちにとって、世界のロータリアンから受けた友情は、まさに有形の「超我の奉仕」を、眼前に突きつけられたようなものだった。

クラブ創設から1年も経たないうちに支援の窓口という重責を担った大阪クラブは、親睦と友誼を中心とした日常活動から、やはり「超我の奉仕」というロータリークラブの理想に直接、触れ得たのだった。

被災者への国際的な救援活動は、他にも具体的な形で示され、「国際的」とは何かを知らしめた。駐日アメリカ大使のザイラスE. ウッズは震災が発生するやいなや、東洋の海域に展開していたアメリカ艦隊の動員を企図し、食糧や救援物資を積載した艦隊を、震災発生後わずか60時間で横浜港に着岸させた。アメリカ政府も赤十字とともにフランクRマッコイ少尉を日本に派遣し、救援活動を執られた。

これらの動きは、東京・大阪のクラブ会員にとって、ロータリー活動という民間支援と、国際協力という国境を越えた人道支援の、双方の尊さを知る貴重な機会となった。もちろん、この体験が以後の日本のロータリークラブ運動の発展に、実際的に、そして精神的にも多大な影響をもたらしたことは、言うまでもない。(ロータリー日本100年史より)

前回例会報告

会長の時間では、今日の夜はスーパームーンが見られる予定である。夜は晴れの予報なので見事なお月様を眺め、皆様と感動を共有したい。RI会長のメッセージ『思いやりの心で行動しよう。』を今月号のロータリーの友で読み、すごく心に響いた。「ロータリーは、思いやり、寛大さ、友情と自愛に基づき、世の中で善いことをしようとする集団である。親切な行為は人との繋がりを促進する最大の方法であり、ロータリーの活動は奉仕する地域社会に変

出席報告

	会員数	当日出席	メーキャップ	出席率(%)
8月31日	49(9)	32(3)	0	74.42
8月 3日	49(9)	40(6)	0	

化をもたらすだけでなく、私たち自身にも変化をもたらす。」とおっしゃっている。今年の彦根ロータリーテーマについては、「幸せを分かち合い 心豊かなロータリーライフを」とさせていただいた。国際ロータリーのテーマ「世界に希望を生み出そう」との響きあいを感じる。何かしら困難なことに直面している人に支援ができるのではないかと文章を読んで力をいただいた。

本日の卓話は安居継彦君より「彦根市消防団と彦根市青少年指導員の活動」について話されました。



・消防団の活動については、彦根市消防第4分団に所属し、今年で入団26年目、令和4年4月より分団長を務めている。消防団は、市町村の非常備の消防機関であり、構成員は他の本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき消防防災活動を行っている。彦根市在住か勤務している18歳以上の人が入団できる。彦根市消防本部など常備消防とは異なる機関である。消防団は、主に小学校の校区毎に組織されており、現在15分団ある。令和3年の火災件数は38件であり、建物火災が19件と最も多く、次にその他(建物や山林以外)が16件火災であった。入団希望者の方は、是非入ってもらいたい。

・青少年指導員の活動については、「青少年は地域から育む」ことを目指し、青少年の非行防止や啓発及び環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に寄与することを目的に取り組んでいる。現在、彦根警察署の少年補導員を兼務している。各、小学校区の青少年育成協議会の会長の推薦を受け、彦根市長から委任される。任期は2年である。活動は大きく、ビバシティなどで行う合同補導と、各地区で学校の休みに合わせて行う地区街頭補導となっている。また、花火大会や祭りなどで補導活動を行う「補導部」、保育園・幼稚園、小中学校で啓発活動を行う「啓発部」、書店、コンビニ等で成人雑誌の販売等の調査を行う「調査部」の3部に分かれて活動を行っている。

ニコニコ箱

(本日計 13,000円・累計 327,000円)

今夜は満月スーパームーンみんなで見上げましょう。安居君、今年度初の卓話よろしくお願ひいたします
…渡邊君

本日卓話をさせていただきます。よろしくお願ひします
…安居(継)君

はやいもので8月末になりました。暑い日がまだまだ続きますが身体の声なきながら頑張ります…伊藤君
入会記念日を祝って頂いて…鈴木君
生まれは10月6日です…細江君
ざるに受け ススツするする そうめんや…正村君
皆さんニコニコをよろしくお願ひします…宮川君

他クラブプログラム予定

9月 8日(金)	長 浜東RC	「日本をもっとおもしろくする 新しい事業承継」
9月11日(月)	長 浜RC	「あったらいいなぁをカタチに」
9月11日(月)	五・能RC	「会員卓話」
9月12日(火)	彦根南RC	「18日に変更」